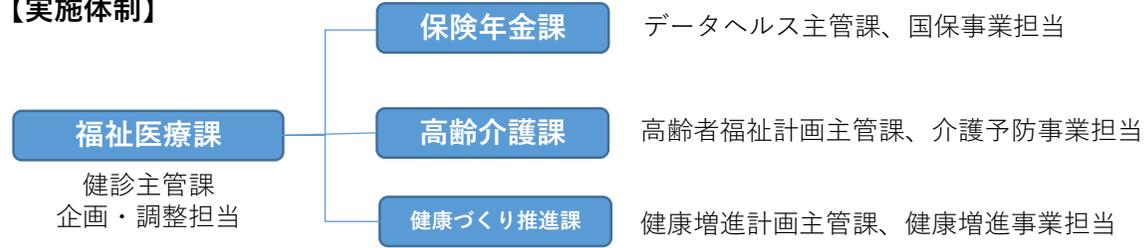


大阪府富田林市

- 一体的実施開始以前から、市内の医療専門職による日常的な情報共有、課を越えた事業の実施を行ってきたため、スムーズに一体的実施を開始。関係課・関係機関が連携することにより、各専門職が有する知見やネットワークの協力を得られ、事業が円滑に進行中。
- 住民の生活実態を正確に把握することを常に意識。事前アセスメントや支援内容の検討の丁寧な実施。

市の概況（令和3年3月31日時点）		
人口		109,650人
高齢化率		30.6%
後期被保険者数		16,809人
日常生活圏域数		3圏域

【実施体制】



4課の保健師等から構成される『けんこう小町隊』の取組等を通し、関係課で連携した事業をほぼ毎月のように実施◎



取組経緯

- 以前は、各課が担当事業を各々実施していたが、各課保健師が目標や事業内容の共有の必要性を感じた。平成25年度より課を超えての健康に関する啓発、各課の事業の目的等を共有する会議を開催し、会議については平成28年度から定期的な開催に至った。
- 一体的実施開始前は、後期高齢者に特化した保健事業を市で実施していなかった。厚生労働省よりガイドラインが示された際、市としての保健事業の必要性を市内で実感。後期高齢の事務担当課に医療専門職を配置し、国保部門、介護部門、健康増進部門の4課連携で事業を開始。

企画・調整等

○KDBの活用

対象者抽出や保健指導前のアセスメントとして日常的に活用。健康課題の分析として、疾病別医療費大分類等の確認を行う。健診結果のデータを整理したものを4課で共有。地域の高齢者健康課題として、
・介護認定率が府下平均より高い
・人工透析者のうち、過半数がⅡ型糖尿病を起因とした糖尿病性腎症
・歯科健診の有所見者割合が高いを掲げた。

ハイリスクアプローチ

- 低栄養防止 ○糖尿病性腎症重症化予防
- その他の生活習慣病重症化予防

※抽出基準はガイドライン等を参考。

- ・通知後、健康状態の確認も含め、全件に対し架電を行う。
- ・事前のアセスメントの丁寧な実施。
- ・適切な保健指導のため抽象的な表現ではなく、目に見えるツール（食品サンプル等）で対象者と共有。
- ・身体の状態を実感するため、体組成計を用いた体組成測定や握力測定の実施。
- ・国保部門の事業をもとに後期高齢担当課でも実施することで、かかりつけ医連携も大きな負担がなく実施。
- ・介護部門の事業への接続を意識しており、必要な人への適切な案内を実施。
- ・事業で感じた課題は関係課と必ず共有。

ポピュレーションアプローチ

○あらゆる場（①～⑥等）への積極的関与

高齢者が集まる場でフレイル予防、健診受診勧奨、質問票を活用した健康状態の把握等を行う。必要時は関係機関と連携し、個別健康支援を実施。

- ①通いの場
- ②出前講座
- ③集団のがん検診会場
- ④市が関連するイベント
- ⑤医療関係団体と連携したフレイル対策啓発事業
- ⑥広報掲載 等

<通いの場（歯科教育）>



今後の展望、課題

- 現段階の評価**：後期高齢者への保健事業の必要性や、フレイル進行は複合的要因によるものであり、様々な専門職の事業関与が必要であることを実感。
- 課題・今後の展望**：健康状態不明者把握の実施と低栄養防止の拡充。マニュアル等を活用した医療・介護データ分析。地域担当医療専門職が自律的に事業を推進できるよう、地域担当医療専門職の拡充や各関係・機関との連携における深化。